



「バニラ味でとってもおいしい」と今田奈々さん（庶路1年）

TOPIC 4
6/15
とってもおいしい
アイスクリームが給食に
JAくしろ丹頂がアイスクリーム提供

J Aくしろ丹頂酪農振興会白糠支部（對木隆司支部長）が無償提供した高級アイスクリームが町内の小中学校、高校の給食で振る舞われました。

同支部では、新型コロナウイルスの影響で需要が減少している道産乳製品の消費拡大の一環としてアイスクリーム576個分（1個450円）を用意しました。

對木支部長は「コロナ禍で学校行事が延期や縮小されているので、アイスクリームを食べて元気を出してほしい」と話していました。

TOPIC 5
6/16
町立白糠学園
来年2学期の開校に向けて
白糠小中学校外統合事業安全祈願祭

白糠小中学校外統合事業安全祈願祭が、白糠中学校の敷地で開かれました。町や施工業者など関係者15人が出席。神事では棚野町長のくわ入れなどで工事の安全を祈りました。

工事は既存の校舎や屋体、武道館の改修のほか、エレベーターを増設。また、校舎西側には白糠こども園などの複合施設を増設します。複合施設は鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積は2,365.71㎡。完成は来年の7月中旬で、一開校は来年2学期からの予定です。



無事に完成することを祈り玉串奉奠を行う棚野町長

TOPIC 6
6/17
積極的に電子データを活用
町と国の行政効率化に貢献
札幌国税局長感謝状贈呈式

町は国税電子申告・納税システム（イータックス）を利用した確定申告のデータ送信に積極的に取り組んだとして、札幌国税局長感謝状が贈られました。

昨年度の申告書件数845件のうち、793件（93.8%）を電子データで税務署へ送りました。

贈呈式が役場で行われ、草地裕志釧路税務署長から棚野町長に感謝状が手渡されました。棚野町長は「町が協力することは町民にとっていいことなので、今後も積極的に取り組んでいきたい」と話していました。



草地税務署長（左）から棚野町長へ感謝状が手渡されました

TOPIC 1
5/22
ワクチン接種で
コロナの終息を願う
高齢者のワクチン接種開始

65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種が5月22日から始まりました。

6月27日までに一人2回の接種を終えます。初日は総合体育館で314人が1回目の接種を終えました。

この日ワクチンを接種した竹中タツエさん(76歳)は「大事をとってワクチンを打つことにしました。これで少しは安心できます。ワクチンの接種で、新型コロナウイルスが早く終息することを願っています」と話していました。



ワクチンの接種を受ける竹中さん



作業時はマスクを着用。花壇整備で心地よい汗を流しました

TOPIC 2
6/6
きれいな花壇で楽しんで
縫別地区協議会で花壇整備

縫別地区協議会（石田正義会長）は、環境整備の一環として「縫別自然の家」と「縫別集会所」の花壇を整備しました。この日は会員など17人が参加。花壇の周りを清掃した後、キンセンカやマリーゴールド、サルビアなど8種類の花、合計250株を植えました。

石田会長は「緊急事態宣言が解除になった後、ここを訪れる皆さんに花を楽しんでもらいたい」、松永信子さん（73歳）は「皆さんで一生懸命にやったので、きれいな花壇ができました」と笑顔で話していました。

TOPIC 3
6/7
オンライン学習の
準備を進める
白糠小「オンライン全校朝会」

白糠小学校ではタブレットを使ったオンライン学習の準備を進めています。この日は、オンラインを使った取り組みの一つとして、オンラインで全校朝会を行いました。児童生徒たちは、各教室にいながらでもテレビ画面を通じて校長先生の話を聞くことができます。

滝川敦善校長は「オンラインで実施することにより、感染リスクを減らすことができます。もし臨時休校になった場合でも、自宅にいながら授業が受けられるように通信環境を整えていきたい」と話していました。



写真左上のテレビで校長先生の顔を見ながら話を聞いています